

8 経営発達支援事業

I 地域の経済動向調査【指針③】

1 経営発達支援事業の内容

〈大野地域の経済動向調査〉

【実施内容】

広島県や廿日市市等からの情報、(株)日本統計センターの「市場評価ナビM i e N a」などを活用し、大野地域の特性を把握。さらに詳細を把握するため、主要業種別に会員アンケートを実施し、経営指導員を中心に聞き取り調査を行うことにより会員事業者カルテを作成するとともに、観光関連産業の地域内の経済動向を分析する。また、業種別の調査・分析の結果などはビジネスモデルとして商工会に常備して、経営指導員の経営改善指導の際に活用するとともに、定期的に商工会だより・会員ニュース・ホームページ等に掲載し、地域・会員等に周知することにより、新商品開発や新規創業・第二創業を考える事業者の発掘に資する。

平成29年度事業報告

これまでに蓄積した基礎的データについては、事業所への確認作業により、データの更新に努めている。また、基幹システムで管理しやすくなった項目（過去3年の財務比較が可能となったこと等）については、該当するデータを基幹システムに移し、データの統合を行うことで、データの整合性を高めた。

【課題】

調査からデータを活用するまでのタイムラグがあるので、この部分についての検討が必要である。

【今後の展望】

次年度からは、新計画に基づき基幹システムによる管理を一層推進する予定である。情報のタイムラグ減少に向け新制度の導入を予定している。

II 経営分析・需要動向調査【指針①、③】

1 経営発達支援事業の内容

〈経営分析〉

【実施内容】

小規模事業者の経営改善や持続的発展に資するため、経営指導員の巡回・窓口相談、及び「大野地域の経済動向調査」で作成した会員事業者カルテや各種研修会の開催を通じて、個別の小規模事業者の経営分析を行う。専門的な課題等については、広島県や広島県商工会連合会、公益財団法人ひろしま産業振興機構、地域の金融機関などと連携して、専門家派遣を行い、事業者の抱える経営上の課題について、より丁寧にサポートする。さらには、特に新規創業者を主体に、新規加入会員向けの「商工会活用セミナー」を開催し、国・広島県・廿日市市、県連などの各種支援制度等を紹介し、その活用を促すとともに、定期的に巡回訪問し、事業経営持続化のための伴走型の支援を行う。

平成29年度事業報告

経営計画の策定等の伴走支援についてコンサルティングセミナーを開催し、経営計画策定の重要性を認識いただくと共に、伴走支援の内容周知に努めた。この他、小規模事業者を対象に経営改善や持続的発展に繋がる各種研修会を開催した。

また、より高度な相談に対応すべく専門家派遣制度を活用し、経営計画の策定支援までの指導を含めるとミラサポ5件、伴走型派遣22件の派遣を行った。この他、広島市産業振興センターの巡回個別相談窓口を活用し、10件の専門的指導を行なった。また、商工会活用セミナーについては、新規加入者を対象としていたことから、加入時に個別で説明を徹底することとした。



【課題】

経営指導員の巡回訪問だけで、対象事業所の掘り起こしを図ることは、人的にも時間的にも限界がある。

【今後の展望】

巡回訪問時及び青色申告作成支援時や金融相談時に、希望者に対して財務分析を行い、そこから自社の強みの抽出を中心とした定性的な分析を含めた「経営状況の分析」に繋げていく。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
巡回訪問件数	1,385	1,292/1,400	904/1,450	986/1,500
研修会の開催回数	3	4/3	12/3	4/3
経営分析事業者数	10	10/10	10/10	19/10
商工会活用セミナーの開催回数	1	1/1	1/2	0/2

〈需要動向調査〉

【実施内容】

観光庁の四半期ごとの需要動向調査速報や毎月の広島県の各種調査結果の分析とともに、直近の売れ筋商品の動向を把握するため、広島市内中心部にある市町村情報センター「ひろしま夢ぷらざ」や東京・銀座の広島ブランドショップ「TAU」での売れ筋商品の販売状況などを継続的に取得し、その分析を行うとともに、特産品開発特別委員会の開催や、案件により会員ニュース・ホームページに掲載し、会員による商品改良や新商品開発に資する。また、大野地域で提供する商品・サービスの需要

動向を把握するため、「ひろしま夢ぷらざ」や「TAU」において、特産品フェアを開催する際、来場者アンケートや聞き取り調査を実施し、会員による商品・サービスの改善意欲の醸成を図る。

平成29年度事業報告

ひろしま夢ぷらざでの西広島フェアへ参加すると共に、大野デーとして店頭販売を実施し、聞き取りにより、お客様の動向把握に努めた。また、広島ブランドショップ「TAU」でのブラッシュアップをした商品の試験販売を通してアンケート調査を実施し、首都圏での動向の把握に務めた。

【今後の展望】

外部公表データを活用することはもちろんのこと、調査においても個社の売上増、利益増につながることを目的とし、事業計画を策定した個社のための、顧客アンケートやモニタリング調査を主体とした調査を実施する。

【課題】

これまでのアンケート等は漠然とした意識調査結果になってしまっていた関係で、収集したデータすべてが個社支援に活用することは困難であり、もっと個社支援に特化した調査をすべきである。

Ⅲ 事業計画の策定・実施支援【指針②】

1 経営発達支援事業の内容

【実施内容】

小規模事業者の経営課題の解決を図るため、「Ⅰ地域の経済動向調査」、「Ⅱ経営分析・需要動向調査」の調査結果等を踏まえ、廿日市市内の3商工会（佐伯商工会・大野町商工会・宮島町商工会）と共同で、事業計画策定セミナーの開催や個別指導を強化するなど、事業者がビジネスプランを策定するための支援を行うことにより、伴走型の指導・助言を行い、事業の持続的発展を図る。

平成29年度事業報告

計画づくりの必要性を感じている事業所には、個別に専門家の派遣を行い、実現性の高い経営計画となるよう支援を行っている。やる気のある事業所は、小規模事業者持続化補助金にチャレンジしており、10件の申請のうち5件の事業計画が評価を受け補助金が採択された。補助金を活用し、店内を改装することでサービス内容をレベルアップさせ、販路を拡大するなど、様々な取り組みがされている。さらに、12月には、経営計画策定セミナーを開催し、事業計画策定の機運の醸成を図り、事業計画の策定を目指す小規模事業者の掘り起こしにつなげた。

【課題】

3年間ではその基本的な考え方が地域内の全ての小規模事業者に浸透しているとは言えず、引き続き周知、作成支援していく必要がある、

【今後の展望】

引き続き事業計画づくりの必要性を周知し、自身の経営力を向上させることを目的とした事業計画づくりを支援するものとする。また、支援対象事業者は自社の経営状況の分析が終了している小規模事業者であることが前提となる。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
共同セミナーの開催回数	3	3/4	1/4	2/4
単独説明会の開催回数	3	1/3	3/3	2/3
事業計画策定事業者数	18	26/20	33/20	27/20
持続化補助金の活用促進	17	25/20	28/20	20/20
新融資制度の活用促進	0	1/1	0/2	0/3
フォローアップ件数	20	25/25	28/25	23/25 109回

IV 創業・第二創業(経営革新)支援【指針②】

【実施内容】

地域における観光関連産業などのさらなる集積を促進するため、3商工会が連携して、創業希望者の掘起しを図り、廿日市市が開催（産振構・㈱日本政策金融公庫・廿日市商工会議所と共催）する創業・起業支援講座『しゃもじん創業塾』に、その参加を誘引するなど、新規創業や第二創業等の支援を行う。創業後も、巡回訪問等により、伴走型の支援を行う。

平成29年度事業報告

商工会カウンターへのパンフレット設置や、商工会ホームページ等での情報提供により、しゃもじん創業塾への誘引を行った。また、独自の「創業セミナー」を開催し、域内での創業希望者の掘り起こしを行った。さらに、巡回相談等を通じて2件の創業希望者の掘り起こしを行ない、あわせて創業計画策定のための個別指導を実施した。

【課題】

創業者の掘り起こしを目的とした「創業セミナー」となっていない。

【今後の展望】

大野地域での創業予定者、または創業後1年以内の創業者を対象として、創業計画の策定を目的とした支援を行う。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
しゃもじん創業塾の開催回数	5	5/5	5/5	5/5
創業個別指導の件数	5	6/5	6/5	4/5
会員研修会の開催回数	1	1/1	1/1	1/1
フォローアップ件数	5	8/7	9/10	7/10

【実施内容】

牡蠣・アサリ、もみじ饅頭・木工品、あなご飯などに続く『大野ブランド』を育成していくため、地域資源を活用した特産品の開発を進めるとともに、既存商品や開発した商品の販路を開拓していくため、各種商談会や「ひろしま夢ぷらざ」等に出展・出品する。また、市内での新たな経済循環を創出するため、廿日市市が開催している『産業連関強化塾』に会員の積極的な参加を促し、商工業者と農林水産業者の連携や、農林水産業の6次産業化を進めるなどの新たなビジネスの可能性を探る。また、観光客の受入態勢の整備の面では、『廿日市まちの駅構想』を推進し、地域に「まちの駅」を整備していき、高齢者等に優しい『大野ブランドのおもてなし』を実践し、おもてなしの地域づくりを進め、小規模事業者の販路開拓などを支援する。

平成29年度事業報告

地域資源等を活用した商品について、宮島口アンテナショップをはじめ、ひろしま夢ぷらざでの販売を行うなど、認知度向上を図った。また、「まちの駅」整備に向けては、全国展開支援補助金を活用しまちの駅の仕組みを活用したコミュニティビジネスモデルの構築を目指し事業展開を図った。具体的には、まちの駅の知名度向上や市誘客を目指した、まちの駅フェスティバル（まちの駅フォトコンテスト）の開催、まちの駅冊子の計画、ホームページのアクセス数増加に向けた活動などに取り組んでいる。サテライトステーションは現在市域で102駅となっており、日本一まであと1駅となっている。

さらに、都市圏の小売店舗における販売機会を提供することで、当該事業者の販路拡大につなげ売上増加を図るための事業として、商品のブラッシュアップのための「商品評価会議」を開催すると共に、広島ブランドショップ「TAU」での試食販売を実施し、販路の拡大に努めた。（5事業所）加えて、廿日市市が東京の「ひろしま酒蔵 歓粋亭」で開催した廿日市ふるさとウィーク事業に協力し、ふるさと納税の返礼品による特産品の広報を行うことで、販路の拡大を図った。

◆商品評価会議

(1)開催内容

商品開発や販路開拓等を得意としている専門家を招集し、各事業者の商品（開発中含む）について様々な角度から商品評価を行う会を実施した。各事業者は、自社の商品をプレゼンした後、専門家からは商品改善や販路先等のアドバイスを行った。

後日、各専門家の評価を集約した「評価シート」や今後の事業展開に役立つ「マーケティング戦略シート」を作成し、事業者へフィードバックした。

(2)開催日時

平成29年10月26日（木）13：00～16：20



◆広島ブランドショップ「TAU」での試食販売

(1)実施内容

事業者の売上増加及び販路拡大を行うために、銀座にある広島県アンテナショップ「TAU」にて試食販売を実施した。試食販売を実施するにあたり、各事業者の申込書の内容確認・修正および連絡調整を行った。当日は、各事業者の販促グッズの準備から片付け等のサポートを行った。

(2)開催日

平成30年1月23日（火） ～ 1月25日（木） （3日間開催）



◆まちの駅の推進

- ①まちの駅フェスティバルの開催
- ②知名度向上に向けたPR活動
- ③まちの駅小冊子の作成
- ④ホームページのアクセス向上への取り組み

【まちの駅フェスティバルチラシ表】



【まちの駅フェスティバルチラシ裏】



まちの駅広告を掲載（11月に3週連続で掲載した。）



まちの駅小冊子「まちの駅めぐり」の作成配布



◆廿日市ふるさとウィーク

事業名 廿日市ふるさとウィーク実施業務

日時 平成30年2月1日（木）11時30分～23時00分

平成30年2月7日（水）11時30分～23時00分

レセプション 平成30年1月31日（水）18時30分～

会場 ひろしま酒蔵 歓粋亭



【課題】

新商品の開発数を目標とすることについて、本来は売上や利益の増加につなげることが目標であり、商品開発数のみを目標に掲げている。

【今後の展望】

「まちの駅」「宮島口ターミナル」という地元の施設を有効に活用し、新たな販路を開拓することに重点を置いているが、これらの売上状況をみてさらに良いものは「ひろしま夢ぶらざ」や首都圏等の展示会・商談会などの新しい販路の拡大へ積極的に取り組む。特産品の開発や展示会への出展などは継続するが、出展することが目標ではなく、それによりアウトカム（売上増加等）につなげることを目標として設定する。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
特産品開発セミナーの開催回数	1	1/1	2/1	0/1
新商品の開発数	5	2/5	2/5	2/5
(仮称)廿日市フェアの開催	0	1/1	1/1	2/1
西ひろしまフェアの開催回数	1	1/1	1/1	1/1

地域団体商標登録件数	0	0/0	0/1	0/1
店舗リフォーム件数	0	5/5	2/10	3/10
まちの駅認定件数	0	0/50	60/25	42/25
おもてなし研修会の開催回数	0	1/1	3/2	1/3

I 地域活性化事業

2 地域経済の活性化に資する取組み

【実施内容】

大野地域の調和の取れたまちづくりと地域の一体化を促進していくため、「事業委員会」及び特別委員会の「大野地域まちづくり推進委員会」での議論を基に、広島県・廿日市市が実施する各種事業や各種団体等が開催するイベント・祭りへの協力とともに企画・実施を支援することにより、交流人口の拡大や地域の結束を図る。また、大野中央地域への賑わい施設の実現化を図る。

平成29年度事業報告

平成29年度は以下の事業について参画した。

1. 厳島港宮島口地区整備事業への協力（県・廿日市市）…宮島口まちづくり推進協議会へ会長が委員として参画。
2. 大野中央地域の賑わい施設の整備への協力と推進（廿日市市）…市大野支所との打合せ。
3. トライアスロン大会、駅伝への協力…大会実行委員会への参画の他、トライアスロン大会の走路監視員として開催当日のボランティア参加。
4. けん玉ワールドカップ廿日市への協力…大会実行委員会への協賛参画。

また、地域内で開催する次の各種イベント・祭りについては、それぞれの実行委員会の事務局として、実施計画の策定と、青年部を中心に当日の祭りの運営を行うとともに、新商品などの発表の機会を提供し、地域内だけでなく、域外からの来場者に紹介・販売することにより、そのブランド化や販路拡大に取り組んだ。

（事業内容－イベント・祭り）

イベント・まつり名	開催時期	実施主体	開催目的
大野みんなのまつり 〔小田島公園〕	6月10日～ 11日 土・日曜日	大野みんなのまつり実行委員会	地域の商工・コミュニティ団体などが一堂に会して、地域商品の販売や各種団体の諸活動の発表などを行い、地域内外の来場者に大野地域情報を発信する。
宮浜温泉まつり 〔宮浜温泉グラウンドゴルフ場〕	7月30日 日曜日	宮浜温泉まつり実行委員会	主として温泉利用者等を対象に、宮浜温泉の良さの周知とともに、地域商品の販売などを通じて、宮浜温泉へのリピーターの確保と知名度の向上に資する。

ときめきフェスティバル 〔大野体育館周辺〕	9月24日 日曜日	ときめきセ ール会	ときめき（ポイント）カードの加盟店 を中心に、商品の販売等を行い、カー ドの利用とともに、地域住民の大野地 域内での生活用品の購入を促進する。
宮島お砂焼まつり 〔宮島口商店街周辺〕	10月15日 日曜日	宮島お砂焼 まつり実行 委員会	宮島口への来訪者を対象に、お砂焼の 手作り体験や茶道・生け花教室などと ともに、地域商品の販売を行い、宮島 口（商店街）への滞在時間の拡大を図 る。
大野かきフェスティバル 〔ポートレース宮島〕	2月11日 日曜日	大野かきフェ スティバル実行委 員会	宮島口への来訪者を対象に、大野の牡 蠣・アサリや地域商品の販売などを行 い、『大野瀬戸かき海道』のブランド 力を高めるとともに販路拡大に資す る。

【課題】

すべてのイベントが意識を共有し同じ方向を向いているとは言えるものではなく、商工会の経営
発達支援事業としての位置付けについて検討すべきである。

【今後の展望】

イベントは継続するものとするが、経営発達支援事業の取組としては位置づけず、現在地域内
循環を目指し進めている「まちの駅」を主体とした新たな地域活性化策を進めていくものとし
る。

事業内容・手段	項目	26年度迄	27年度	28年度	29年度
大野みんなのまつり	出店者数	14	45/15	44/15	42/20
	来場者数	12,000	12,500/12,500	12,000/13,000	13,000/14,000
宮浜温泉まつり	出店者数	10	12/12	16/14	16/15
	来場者数	1,000	1,100/1,100	1,200/1,200	1,300/1,300
ときめきフェスティバル	出店者数	58	20/60	20/60	20/60
	来場者数	3,000	2,000/3,500	4,000/4,000	4,000/4,000
宮島お砂焼まつり	出店者数	37	40/40	40/40	40/40
	来場者数	3,000	3,000/3,500	3,000/4,000	2,500/5,000
大野かきフェスティバル	出店者数	26	41/28	40/30	40/30
	来場者数	15,000	13,000/16,000	16,000/17,000	15,000/18,000

I 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

【実施内容】

3 商工会及び県内商工会のうち広島芸南西ブロックを構成する5つの商工会〔広島市・五日市商工会、江田島市商工会、佐伯商工会、大野町商工会、宮島町商工会〕が共同で、定期的に経営指導員研修会や意見交換会を開催し、テーマによっては専門家にも参加してもらい、経営支援事例などの情報交換・共有を行い、支援能力の向上に努める。

平成29年度実事業報告

五日市商工会、佐伯商工会、宮島町商工会と共同で、マル経融資に関する研修会・意見交換会を開催した。また、廿日市市に設置された廿日市しごと共創センターと会議所、3商工会の会議兼勉強会を開催すると共に、芸南西ブロック（5商工会）の研修会を開催した。

【課題】

よろず支援拠点や中小企業基盤整備機構などが所有している支援ノウハウについては、これらの支援機関との情報交換が緊密でない。

【今後の展望】

経営発達支援を浸透させていくために、よろず支援拠点や中小企業基盤整備機構などとも連携をし、その支援ノウハウを獲得することに取り組む。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
3 商工会共同研修会の開催	0	1/1	1/2	1/2
5 商工会共同研修会の開催	0	1/1	1/1	1/1

II 経営指導員等の資質向上等に関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

【実施内容】

全国商工会連合会、県連、広島県商工会職員協議会等が主催する研修会への経営指導員等の積極的な参加に加え、中小企業大学のマーケティング・販売戦略やその他の研修機関等が実施する販路開拓・売上げ増を目指す実践的研修会へ参加する。また、そうして習得した内容・情報を月1回、全職員による勉強会を開催し、商工会内で共有するとともに、芸南西ブロック等の商工会職員研修会で積極的に発表するなど、経営指導員の指導能力・プレゼンテーション能力の向上を図る。若手経営指導員については、専門家やベテラン経営指導員とチームで小規模事業者を支援することなどを通じて、指導や助言、情報収集方法を習得するなど、OJTにより、伴走型の支援能力の向上を図る。

平成29年度事業報告

指導職員基本研修や経営革新支援研修会等、年間を通じて研修会に積極的に参加し資質向上に努めている。

【課題】

事業計画策定後の販路開拓支援については経験も浅く、ノウハウを持ち合わせていないことから、専門家に依存せざるを得ない状況にある。

【今後の展望】

事業計画策定支援だけでなくその出口である販路開拓支援についての資質向上についても取り組む。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
中国ブロック研修会の参加	0	0/1	4/1	0/1
職員協議会研修会の参加	2	2/2	6/2	2/2
中小企業大大学校研修の参加	1	0/1	1/1	0/1
商工会内勉強会の開催	0	0/10	4/12	3/12

Ⅲ 事業の評価および見直しをするための仕組みに関すること

3 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

【実施内容】

本計画に記載の事業の実施状況及び成果については、毎年度、事業評価委員会により、評価・検証を行う。

平成29年度事業報告

商工会内に、三役、各部会長、監事、廿日市市、広島県商工会連合会、外部の有識者を交えた事業評価委員会を設置し、年度中途での事業の経過・進捗状況の報告を行なった。

【今後の展望】

引き続き評価委員会による評価・見直し、理事会・総代会への報告を通して、商工会だより等で地域内小規模事業者や住民への周知を行う。

事業内容・手段	26年度迄	27年度	28年度	29年度
事業評価委員会の開催	0	2/3	2/2	2/2
商工会だよりの発行	(2)	2/2	2/2	2/2
商工会会員ニュースの発行	(8)	5 (随時)	5 (随時)	4回
ホームページへの掲載	0	0 (随時)	6 (随時)	5 (随時)